

(公財) 日本体操協会

平成28年度第1回定時評議員会議事録

1. 日時 平成28年6月26日(日) 13時00分～14時20分

2. 場所 岸記念体育会館5F 504～505会議室

3. 出席者 <評議員>

出席

小野 喬、大島斎礼、早田卓次、加藤澤男、朝倉正昭、柳善二郎、
長澤稔子、福本 隆、三畑武一、森田弘文、三輪康廣、大橋英記、
渡邊一郎、田中誠一、立藤三千洋、森玲子、竹谷 一、知念義雄

18名

欠席

滝澤康二、小篠弘子、寺田千代乃、林 直樹、山岸弘宜、藤田正敏、
関貫 勉

7名

<理事・監事:>

出席

二木英徳会長、塚原光男副会長、具志堅幸司副会長、石崎朔子副会長、
渡辺守成専務理事、遠藤幸一常務理事、監物永三監事

7名

4. 資料の確認

審議事項

第1号議案 平成27年度事業報告 (資料1)

第2号議案 平成27年度決算報告 (資料2)

報告事項

第1号議案 平成28年度協会政策方針 (資料3)

第2号議案 「日本代表選手・役員の行動規範」について (資料4)

第3号議案 トランポリン国体化に向けての登録状況報告 (資料5)

5. 権限審査

定款第5章第24条に基づき本評議員会は評議員25名中、本日、出席評議員18名のため、評議員会開催の定足数（過半数）に達していることを渡邊事務局長報告。

6. 議長選出

定款第4章第16条の定めにより、評議委員会議長は、評議員の中から選出すると定められており、早田卓次評議員が議長に選出された。

7. 議事録署名人

定款第5章第26条に基づき、議長の早田卓次並びに、福本 隆・三畑武一評議員の3名を指名し、異議なく承認された。

8. 審議事項

第1号議案 平成27年度事業報告（資料1）

議長の指名により、渡辺事務局は資料の説明を行った。

定款第4条（事業）をベースに公益目的事業および収益事業につき具体的な説明を行った。

公益目的事業比率は85%となった。（50%以上が公益最低条件）

1. 国際貢献事業
2. 競技力向上・選手派遣事業
3. 講習会・指導者養成・資格認定・検定事業
4. 競技会等開催事業
5. 顕彰事業

収益事業

1. マーケティング事業
2. 出版物販売事業

議長は質問・意見の有無を議場に諮った。

（大島評議員）アクロと男子新体操の融合について

- ・それぞれ、歴史・文化が異なる。現場では、融合困難との話もある。
- ・アクロの講習会等の実績記載がない。

(専務理事)

- ・議論を深めた上で決定した。世界選手権があるアクロとの融合を進める。
事実、昨年の大会では新体操・アクロが合同で大会を開催済み。息長く地道に推進していく。

(三畑評議員)

- ・アクロの普及等に向け、頑張っ^てやりたい。

、議長は第1号議案の承認採決を諮り、全員異議なく承認。
第1号議案は原案通り承認・可決された。

第2号議案 平成27年度決算報告 (資料2)

議長の指名により、渡邊事務局が報告した。

決算報告は、決算概要資料に則り、要点を説明した。

1. 正味財産増減計算書

予算収支 37,873 千円に対し、実績 93,278 千円となった。

| | 予算 | 決算 | 前年度 | (単位：千円) |
|------|---------|-----------|---------|---------|
| 経常収益 | 924,213 | 1,168,733 | 954,240 | |
| 経常費用 | 886,340 | 1,075,455 | 888,550 | |
| 経常増減 | 37,873 | 93,278 | 65,690 | |

- ・経常収益・経常費用の主要増減等について説明。

2. 貸借対照表

総資産 360,011 千円で前年度比 67,365 千円増加。

期末正味財産 217,218 千円で、前年度比 93,278 千円増加。

正味財産比率前年度 42.4%から 60.3%に向上。

- ・主要科目の内容につき説明。
- ・過去の経営数値等の説明。

渡邊事務局長の説明後、監物監事より、監事の監査報告書が報告された。

以上の報告を受け、議長は質問・意見の有無を議場に諮った。

(長澤評議員)・競技力強化/助成金関連

- ・ターゲットエイジ体操女子が体操男子に比べ、極端に低い。原因は何か？

(専務理事)

- ・JOCの選考基準が前年度の実績が基準となっている。今回、ターゲットエイジ事業のの新規募集が体操女子の候補に挙がっている。ぜひ、獲得したい。
- ・新体操の事業費と助成費、協会負担額、ポラ等の収入の関連
事業費等とは別途の収入であり、新体操では17,768千円の回収増。

(大島評議員)・登録料について

- ・スポーツ安全協会での体操人員は23万人。減少していない。
- ・WEB登録方法を簡素化して、登録料の増収を図って欲しい。

、議長は、第2号議案の承認採決を議場に諮り、全員異議なく承認。
第2号議案は原案どおり、承認・可決された。

9. 報告事項

第1号議案 平成28年度(鋼材)日本体操協会政策方針 (資料3)

渡辺専務理事より、スクリーン映写により、スローガン“夢の実現”の報告があった。

リオの目標

男子体操：団体金メダル最重点目標、4つの金メダルを含む7つのメダル

女子体操：団体銅メダル獲得、種目別メダル獲得、個人総合8位入賞

新体操：団体メダルを最重点目標、個人総合8位入賞

トランポリン男子：メダル獲得

トランポリン女子：5位入賞

一般体操・スポーツアクロ・男子新体操・指導における暴力問題への対策
2020東京オリンピックと地域活性化

第2号議案 「日本代表選手・役員の行動規範」について (資料4)

遠藤常務総務委員長より、資料に則り、説明を行った。
趣旨・基本方針・行動規範

違反選手・役員に対する処分
アンチドーピングに関するガイドライン
メディア活動に関するガイドライン
肖像等使用に関するガイドライン

誓約書

現在、関係者取り寄せ中。

第3号議案 トランポリン国体化にむけての登録状況報告 (資料5)

渡邊事務局長より、資料5の説明を行った。

日本体育協会へのトランポリン競技者登録状況の報告であり、今回は2020 鹿児島国体へむけての報告で、今後、毎年、報告を義務付けられる。今回報告は46 都道府県 2,035名の報告。(去年は43 都道府県 1,408名)今回、6/17の日本体育協会の国体委員会で2019 茨城国体でトランポリンの正式種目決定となった。関係者の努力とご協力に深く感謝する。なお、各県の組織の一本化等・普及は今後も大事な課題である。

(森田評議員)

・国体正式種目決定についての謝意。

今後、普及・発展に向け、努力して いく旨の意思表示。

第4号議案 その他




議長はその他提案議題等を議場に諮った。

1. 第81回 FIG 総会東京開催(2016年10月)において、渡辺専務理事が FIG 会長候補で立候補。日本として IF 会長は画期的なことであり、ぜひ成功させたい。二木会長からの報告。
2. 遠藤常務理事より、最新の国際大会成績報告。
 - ① 6/17-19 韓国 第14回世界エアロビック選手権男子シングルス 齊藤瑞己選手 日本人男子初の金メダル
 - ② トランポリン・WCスイス大会大会 伊藤・棟朝選手ペア 男子シンクロ 金メダル 中野・森ペア 銀メダル
 - ③ 男子ポルトガル国際 ゆか 谷川 航 銀メダル、山本翔一 銅メダル つり輪 武田一志 銀メダル

10.閉会

議長は、すべての議案の終了を確認し、14時20分閉会を宣した。

平成28年6月26日

| | | |
|--------|-------|--|
| 議長 | 早田 卓次 |  |
| 議事録署名人 | 福本 隆 |  |
| 議事録署名人 | 三畑 武一 |  |